

宇宙の意識

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン
「今日のフォーカスチェンジ」第2304号
(2010年2月18日発行)より

さまざまな学びのなかで、少しずつわかってきたことがあります。それは、この世は、「陰」と「陽」でできているということ。それはたしかに、繰り返し、このメルマガでも書いてきたことではあるのですが、書きながら、まだまだ、頭でしかわかっていないなあと思っていたのです。それが、理屈ではなく、どうにもこうにも、そうとしか思えないという感覚になってきたのです。

何かを見定めれば、その瞬間に、対となるものが、生まれます。何かを正義と定めれば、その定義に属さないものは、悪となります。正義の味方は、悪人がいないと失業しちゃう、というわけです。

世界をつくりだすのは、私たちの意識です。そして、自分自身のありようを決めるのも、自分自身の意識です。この世のおもてがわにあらわれてくるものを、「現象」と呼ぶならば、その現象をつくりだしているのも、「意識」です。

ならば、現象を追いかけているかぎり、も

のごとの本当の姿は見えてこないということです。表面ではなく、その本質にあるものを見る必要があるということです。

あ、ちょっと理屈っぽくなっちゃいましたね。補足してみましょ。たとえば、自分にとって好ましくない状況が目前にあるとします。でも、本当は、ちょっとだけ、ちがうのですね。「状況がある」のではなく、「その状況を好ましくない」と思っている自分の「意識」があるだけ、なのです。

状況そのものは、たいていは、おいそれとは、変わりません。抵抗すればするほど、ひどくなってしまう場合も少なくありません。でも本当は、抵抗するという「意識」があるから、さらなる抵抗を感じるだけなのかもしれません。

だとすれば、その状況にたいする「意識」を変えてしまえばいいのです。加害者がいなくなれば、被害者もいなくなるのはたしかですが、同時に、被害者であると意識することをやめれば、加害者が(意識のうえで)いなくなるというのも、真実なのですから。

これは、もちろん、暴力など、生命の危機に瀕している現実までも、ないものと思えと言っているわけではありません。対処すべき

現実には、必要な対処をすべきです。犬に噛まれそうになったら、通報するか、逃げるか、逆に、犬に噛みつかすればいだけのことです。(そういうひと、たま～にいますよね) (笑)

話をもどします。現象と意識を切り離すこと。たぶん、「空(くう)」というのは、その状態というのではないかと思います。そこには、ただ現象があるだけで、それを善悪などに判断する基準は、どこにもなくなるのですから。ただ、あるものがあり、なるものがあるという状態になるのです。

ここまで書いてきて、私のイメージのなかに、広大な宇宙が浮かびました。もしも、宇宙に意識があるとして、その広大な宇宙の意識から、ものごとを見るのができたなら…。私たちがかかっている問題は、その瞬間に、すべて、雲散霧消してしまうでしょう。私たちが、光と呼び影と呼ぶ、すべてのこと・ものは、ただ、私たちが、仮にそう名づけているだけのことなのだと、気づくでしょう。ある意味、「この世は陰と陽でできている」という真理さえも、意識の産物にすぎないのです。

私は、しばし、その果てしない宇宙の意識に乗って、思いを、はるか彼方に飛ばしました…。そして、ふたたび、この地上にもど

ってきたとき、無性に、ひとという存在のちいささが、いとおしくてたまらなくなりました。このちいさな意識で、日々、あれこれ悩み苦しんでいる自分が、なんともかわいい存在に思えてきたのです。

そして、さらに言えば、その宇宙の意識にさえ、思いを馳せることのできる私たちの意識というものは、なんてすてきなんでしょう。こんなにちっぽけなことでも苦しんでいながら、同時に、無限の宇宙にさえ、飛翔できてしまうなんて！

だとしたら、この意識を何のために使うのかを、私たちは、本気で考え直してみてもいいのではありませんか？ 本気で考え直す時期にきているのではありませんか？ すべて、自分で決められるのです。すべて、自分で決めたとおりになるのです。意識とは、そういうものなのです。

何を選ぶか選ばないか…。こたえは、あなたのなかにあります…。

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、**2003年11月1日創刊**。**2009年4月、2000号達成**。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>